



2005
(平成 17 年)

1 月

目次

●新しい未来をみつめて	P2
●第 4 回議会定例会	P3
●平成 15 年度各会計決算	P4・P5
●平成 15 年度の主な事業	P6・P7
●所得税・住民税申告相談	P8
●石岡市・八郷町合併協議会が設置されました	
●新成人の皆さん、国民年金の加入手続きをしましょう	P9
●けんこう通信	P10
●八郷の歴史	46
●図書室からのご案内	P11
●まちの話題できごと	P12・P13
●みんなの広場	P14・P15
●新しいバラ「つくばエクスプレス」	
●広報クイズ	P16



平成 17 年八郷町消防出初式・一斉放水 (1/9)

新たな未来をみつめて



八郷町長 菊地 武雄

新年あけましておめでと〜ござい
ます。

皆様には、平成17年度の輝かしい
新春を健やかに迎えのことと心よ
りお慶び申し上げます。

昨年は、年末に20世紀以降の津波
被害として「最悪」となったインド
ネシアで起きたスマトラ沖地震があ
りました。

国内で起きた新潟中越地震による
被害が現在も雨や融雪により土砂災
害が発生する危険にさらされており
ます。

これら、災害で亡くなられたが
方々に心より「冥福をお祈りいたし
ますとともに、復興をめざすための
再建に応援をしているところであり
ます。

さて、今年は八郷町が昭和30年
1月1日に市町村合併促進法に基つ
き1町7力村が合併し、新生八郷町
が誕生いたしましたから早、半世紀
が経過し本年度町制施行50周年とい
う記念すべき節目の年をむかえまし
た。

これもひとえに、「ふるさと八郷」
を愛して止まない数多くの町民の皆
さまのためまぬ「尽力の賜ものであ
り、深く敬意と感謝を申し上げます。

本町の50年を振り返ってみます

と、昭和の時代は「豊かな生活」
が求められ、ほ場整備などの生産
基盤の整備が盛んに推進され、併
せて県道や町道などの生活基盤整
備が図られました。石油ショック
より経済の低成長期にはいつてく
ると「心の豊かさ」が求められる
ようになりました。その頃、自然
休養村センターや国民宿舎「つく
ばね」がオープンしました。その
後、公害問題が深刻化してくると
「住みよい生活」が求められるよ
うになり、新治地方環境衛生組合
によるじん芥処理場の操業が開始
され、また、福祉バス「やさこ」
の運行が開始されるなど、公害
環境、福祉社会の広範な分野にお
ける町政運営が図られました。

平成の時代にはいり、都市的な
環境整備としての下水道事業が順
調に展開されているところです。

今後は、この50年の教訓を土台
として、さらに力強い「活力ある
まちづくり」が求められており、
広域交通網の整備と併せて本町固
有の環境、文化などの資源を活か
し、生活環境や健康、福祉環境の
向上に全力を傾注してまいりたい

と思っております。

地方自治法施行から30年を経て、
地域社会形成の方向付けをされた
「地方の時代」から「地方分権の時代」
へと市町村を取り巻く環境は大きく
変わってきており、この大きな動き
は「平成の大合併」と呼ばれ、地方
再編への大きな流れになっておりま
す。

現在、石岡との合併を目指して協
議を進めております。法定期限内の
合併を実現させることが、私どもに
課せられた最大の使命であると考え
ております。

今日まで50年間にわたる皆様方の
「まちづくり」に対する熱意に深い
敬意を表しますとともに「まちづく
り」の総仕上げとして、町民と行政
が一体となった「対話」と「参加」
による新たな未来を見据えた開かれ
た行政運営に努めてまいります。

平成17年が皆様にとって希望あふれ
る年となりますことを「祈念申し上
げますとともに、本年も格段のお力
添えをいただきますようお願い申し
上げまして、年頭のごあいさつとい
たします。

平成15年第4回議会定例会

平成15年度一般会計・特別会計の決算などを認定

平成15年第4回八郷町議会定例会は、12月9日から17日の9日間の日程で開催されました。審議された案件は、平成16年度の各会計の補正予算などの議案11件、平成15年度各会計歳入歳出決算の認定5件と、報告案件が1件で、すべて原案のとおり可決承認されました。

●報告

▽平成15年度八郷町一般会計継続費に係る総合計画策定事業についての報告

●議案

▽平成16年度八郷町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ876万1千円を減額して、予算総額を100億576万2千円としました。

▽平成16年度八郷町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ6950万円を増額して、予算総額を29億4050万円としました。

▽平成16年度八郷町老人保健特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ230万円を追加して、予算総額を26億3596万1千円としました。

▽平成16年度八郷町下水道事業特

別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1308万8千円を追加して、予算総額を27億2808万8千円としました。

▽八郷町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の制定
町が設置する公の施設の管理運営を外部に委託する場合の方法が、従来の業務委託制度から指定管理者制度へ変わったことにより、その指定管理者を指定するために必要は手続き等について定めるものです。

▽八郷町つくばねオートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例

指定管理者制度を導入するために、指定管理者が行う「業務の範囲」、「管理の基準」、「管理の期間」等について定めたものです。

▽八郷町公共施設の暴力排除に関する条例の一部を改正する条例

改正の内容は、条例別表中第24号に引用している旧条例名を「八郷

町つくばねオートキャンプ場条例」に改めるものです。

▽八郷町準用河川の流水占用料等に関する条例の一部を改正する条例

町が管理する準用河川の流水や産出物等の占用期間、占用料の額及び徴収方法について、茨城県が定める条例に準じて改正するものです。

▽工事請負契約の変更(平成16年度国補特環管渠工事第211号)

柿岡からゆりの郷への下水道管渠工事で、中川理水建設(株)が請け負って施行している工事で、設計変更が生じ556万5千円の増額となり、変更後の契約額が5134万5千円となりました。

▽町道路線の認定

▽町道路線の廃止

▽平成16年度八郷町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ220万4千円を減額して、予算総額を100億796万6千円としました。

●認定

▽平成15年度八郷町一般会計歳入歳出決算

▽平成15年度八郷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

▽平成15年度八郷町老人保健特別会計歳入歳出決算

▽平成15年度八郷町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

▽平成15年度八郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算

また、正副議長の選任と議会の人事案件が処理され、議長に永山公士氏(60)、副議長に鈴木米造氏(64)が選出されました。ほかに各委員会の構成が決まりました。



議長 永山公士



副議長 鈴木米造

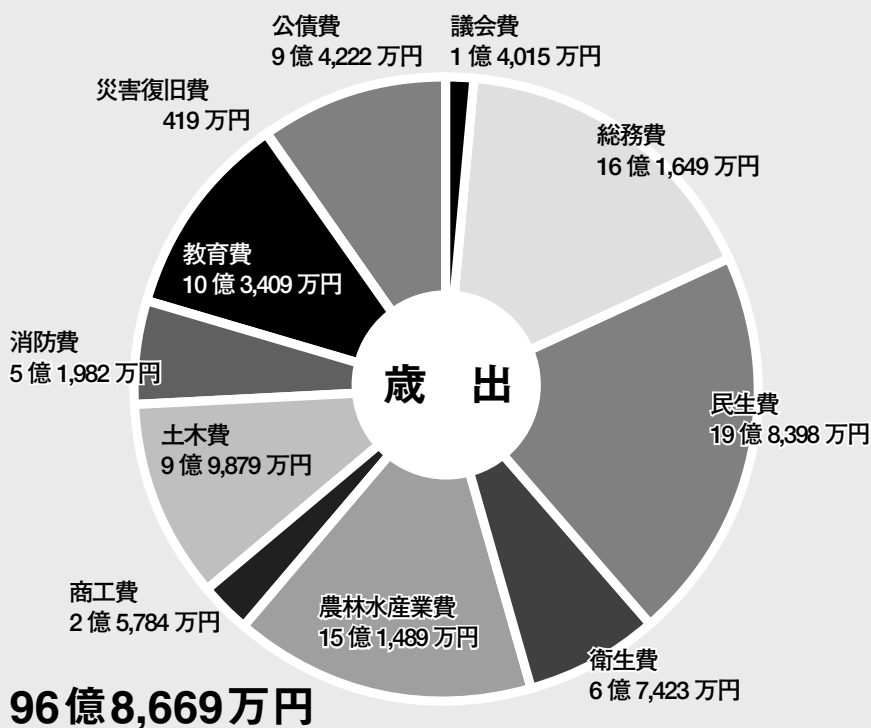
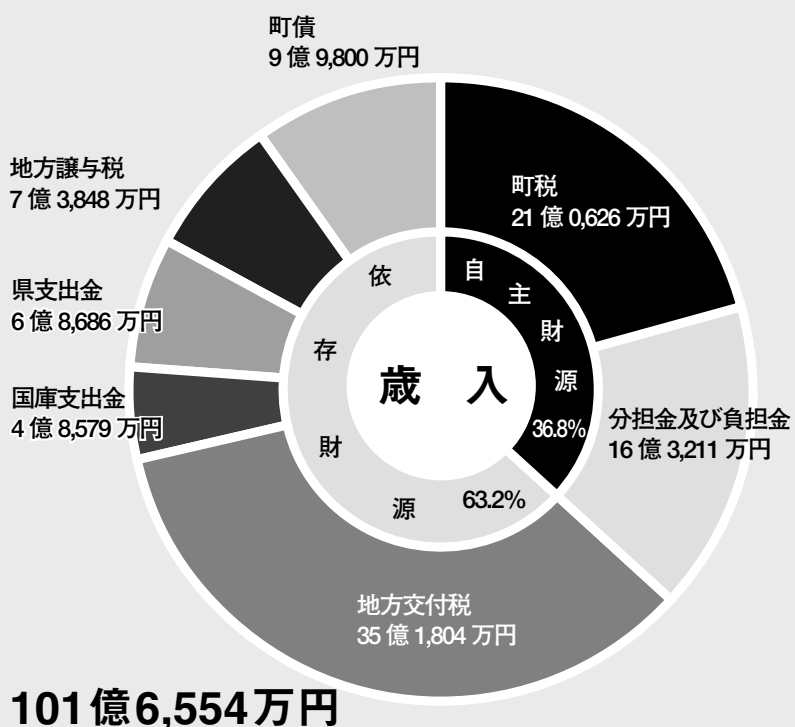
敬称略

平成15年度 各会計の決算報告

平成15年度の一般会計と特別会計の決算は、第4回議定会定例会で認定されました。
さまざまな事業を行った平成15年度の決算のあらましをお知らせします。

一般会計決算

平成15年度の一般会計決算は、歳入総額101億6,554万円、歳出総額96億8,669万円となり、歳入歳出差引額は4億788.5万円です。これから翌年度への繰越財源167.7万円を差し引いた4億620.8万円が実質収支額となりました。



一般会計と特別会計をあわせた決算規模

●歳入 185 億 4,166 万円

●歳出 178 億 2,515 万円

各会計決算総括表

単位：万円

会計名	歳 入		歳 出	
		対前年度比		対前年度比
一般会計	101 億 6,554	-3.2	96 億 8,669	-3.0
国民健康保険	29 億 0,008	12.4	28 億 3,503	15.4
老人保健	27 億 7,449	-7.6	27 億 7,099	-6.3
農業集落排水	8,148	24.3	7,587	22.5
下水道	26 億 2,016	-31.8	24 億 5,657	-30.2
小計	83 億 7,612	-11.8	81 億 3,846	-9.5
計	185 億 4,166	-7.3	178 億 2,515	-6.1

特別会計決算

●国民健康保険

歳入は、国庫支出金が12億5316万円、国民健康保険税が10億4277万円で合わせると全体の79・2%を占めました。歳出の主なもの、保険給付費が17億5205万円と老人保健拠出金7億5380万円とで全体の88・4%を支出しました。

●老人保健

決算に係る対象者数は、4977人でした。歳入の主なもの、支払基金交付金と

●国民健康保険

国庫支出金とで全体の86・4%でした。歳出は、医療諸費が98・3%を占めました。

●農業集落排水事業

歳入は、一般会計からの繰入金と使用料及び手数料が主なものでした。歳出では、赤瀬地区の事業採択を受けるための経費と公債費が主な支出でした。

●下水道事業

歳入は、町債・国庫支出金・分担金及び負担金・使用料及び手数料が主なものでした。歳出は、施設の工事や維持管理に必要な経費に支出されました。

●歳入

歳入では、地方交付税が35億1804万円で全体の35%を占めました。町税は、21億626万円、20・7%でした。町税の内訳(表1)は、前年度に比べ、軽自動車税や入湯税が増加したものの、固定資産税や町民税、たばこ税の減少と、特別土地保有税は平成15年以降当分の間課税が停止になったことにより、町税の全体では昨年度よりも1億1030万円の減となりました。

歳入の総額は、前年度と比較して3億4117万円、割合にして3・25%減少しました。

●歳出

歳出は、老人福祉や保育所の運営などの事業を行った民生費が19億8398万円と全体の20・5%と最も高い割合を占めました。次に、緊急雇用創出事業や、戸籍情報システム導入事業を行った総務費の16億1649万円と16・7%、畜産振興総合対策事業、水田農業経営確立対策などを実施した農林水産業費が15億1489万円と15・6%、小中学校の管理などの教育費が10億3409万円と10・7%、道路の維持管理、町道の整備事業を実施した土木費が9億9879万円と10・3%などが主なものでした。歳出の総額は、前年度と比較して2億9587万円、割合にして2・96%減少しました。

表1 町税の内訳

単位：万円

町民税	7 億 8,773
固定資産税	11 億 2,244
軽自動車税	4,780
町たばこ税	1 億 3,023
入湯税	1,806
町税計	21 億 0,626 万円

ために行った主な事業

人々がいきいきと交流するまちづくり



駅伝競走大会

●教育振興補助事業	2,122 万円	教職員の研究、児童生徒の活動に補助
●私立幼稚園就園奨励補助事業	1,576 万円	就園奨励補助金など
●社会人 T T 配置事業	1,890 万円	ティームティーチング講師 10 人
●外国青年招致事業	1,008 万円	外国人招致 AET 2 人
●小中学校管理事業	7,572 万円	施設修繕、備品・図書購入
●コンピュータ教育推進事業	3,274 万円	コンピュータの設置
●町史編さん事業	1,086 万円	関係史料の収集を行い資料集を発刊
●中央公民館改修事業	601 万円	玄関自動ドア設置など
●青少年を育てる八郷町民の会設置	100 万円	地域ぐるみの組織を設立
●生涯学習推進事業	258 万円	地区公民館自主事業の支援など
●地区公民館運営事業	428 万円	地区公民館独自の活動を展開
●地区公民館改修事業	143 万円	葺穂・瓦会・園部・林公民館を改修
●青少年教育推進事業	127 万円	青少年の健全育成の推進
●学校給食施設管理事業	1 億 6,422 万円	1 日当たり 3,380 食
●スポーツ教室開設事業	38 万円	卓球・スキー・登山教室など
●スポーツ大会等事業	337 万円	駅伝・ターゲットバードゴルフなどの開催
●八郷町芸術祭開催事業	150 万円	芸術活動の成果発表の機会を提供
●講座開設事業	149 万円	各種講座の開催

豊かで活力に満ちたまちづくり



●地域営農システム確立事業	703 万円	共同利用機械導入補助
●畜産振興総合対策事業	2 億 0,909 万円	強制発酵処理施設、堆肥舎などの整備
●県単農道整備事業	1,437 万円	農道整備 大増地区 215.5 m
●県単土地改良事業	2,523 万円	ポンプ交換、排水路護床工事など
●団体営ふるさと農道緊急整備	5,014 万円	上林地区他の歩道整備など
●単町農道整備事業	7,000 万円	石野地区他 7 路線 1,546.8 m
●いばらきの野菜産地強化総合推進事業	156 万円	野菜用パイプハウスに補助金
●転作助成事業	1 億 1,356 万円	転作助成金等の交付
●国補林道開設事業	2,198 万円	林道半田線の開設
●商工振興事業	829 万円	商工会への補助など
●木の薫る施設整備事業	128 万円	木製ベンチ 30 基設置

将来像実現のために

●広報事業	540 万円	広報やさとの発行
●町政モニター設置事業	20 万円	町政への意見、要望などの把握

調和のとれた魅力ある
まちづくり



岩間・八郷線

●片野下青柳線道路整備事業	5,712 万円	舗装工事・交通安全施設工事
●岩間・八郷線道路整備事業	2 億 9,349 万円	改良工事・設計委託・用地取得ほか
●一般町道整備事業	1 億 8,550 万円	12 路線 2,151.8 mの改良
●町道舗装整備事業	5,495 万円	17 路線 4,618.9 mの舗装整備
●排水整備事業	3,162 万円	13 路線 1,090.5 mの排水整備事業
●交通安全施設整備事業	631 万円	カーブミラー・センターライン等設置
●町道舗装新設事業	987 万円	3 路線 868.5 mの舗装工事
●道路維持補修事業	4,416 万円	道路の部分補修と主要道路の除草

安全で快適な環境のある
まちづくり



八郷消防署山崎出張所

●下水道事業（特別会計）	24 億 5,657 万円	管渠工事・施設の維持管理
●農業集落排水事業（特別会計）	7,587 万円	施設の維持管理
●合併浄化槽設置事業	1,158 万円	合併浄化槽設置者に補助金を交付
●ゴミ集積所設置補助事業	28 万円	ゴミ集積所設置した区に補助金を交付
●湖北環境衛生組合負担金	1 億 2,110 万円	し尿処理費
●新治地方広域事務組合負担金	2 億 6,756 万円	塵芥処理費
●新治地方広域事務組合負担金	3 億 9,991 万円	消防費
●防災基盤整備事業	4,254 万円	防火水槽・ポンプ積載車購入等

生涯を健やかに過ごせる
まちづくり



保健センター

●国民健康保険（特別会計）	29 億 0,008 万円	療養給付金・保健事業
●老人保健（特別会計）	27 億 7,099 万円	老人医療給付事業など
●老人保健事業	4,329 万円	各種検診・健康相談・健康診査など
●母子保健事業	942 万円	健康診査・歯科検診・各種教室の開催
●予防接種事業	2,423 万円	各種予防接種の実施
●健康づくり推進事業	92 万円	献血の推進・健康まつりの開催
●栄養改善推進事業	150 万円	
●保健活動事業	23 万円	保健センターだより「けんこう」発行

心のふれあいとおもい
やりのあるまちづくり



恋瀬保育所

●新治地方広域事務組合負担金	1 億 9,636 万円	介護保険費
●社会福祉協議会事務委託事業	3,510 万円	家庭奉仕員派遣事業など
●敬老会助成事業	2,042 万円	敬老会の開催に補助・記念品の贈呈
●介護支援センター運営委託事業	1,200 万円	介護支援センターの運営を委託
●福祉作業所運営事業	1,008 万円	障害者が社会生活できるよう実施
●保育所運営事業	5 億 5,582 万円	7 保育所で 575 人を保育
●児童手当支給事業	9,543 万円	児童の健全育成のために支給
●放課後児童保育事業	225 万円	園部地区で学童保育を実施

所得税・住民税 申告相談のお知らせ

●問い合わせ先 役場 1 階 税務課 内線 1132

●申告書の提出は、あなたの町・県民税の基礎資料となるほか、国民健康保険等の算定資料になります。また、申告がないと所得証明・課税（非課税）証明書等の発行ができない場合があります。申告は3月15日（火）まで受付けていますので忘れずに申告してください。

◎申告相談会場は役場 1 階 101 会議室のみで行います。

◎申告相談当日にお持ちいただくもの

- 1 平成 17 年度町・県民税申告書（用紙は、申告会場にも用意してあります）
- 2 印かん
- 3 平成 16 年中の所得を証明できる書類（源泉徴収票、給与明細書、雇用主の支払証明書、支払調書など）
- 4 事業所得（営業等・農業）、不動産所得のある方は、収支明細書、帳簿類
- 5 各種控除（国民健康保険、介護保険、国民年金、農業者年金、生命保険、損害保険、医療費、寄付金など）の領収書、明書
- 6 障害者の方は、障害者手帳または証明できるもの（扶養者が該当する場合も同じ）
- 7 勤労学生の方は、その証明書

◎お知らせ

◆申告会場は、混雑が予想されますので、農業所得、事業所得、不動産所得を申告される方は、収支内訳書等を必ず記入の上ご持参ください。

また、医療費控除を受けられる方は、支払い領収書の合計を各個人ごと、または各病院ごとにあらかじめ計算しておいてください。

◆平成 16 年分農業所得申告計算方法については、前年度申告時の収入金額が 300 万円以上の方は、収支計算による申告となります。収入金額 300 万円以上の方は、経費目安割合方式による申告はできませんので、あらかじめ経費をまとめてください。収入金額 300 万円未満の方は、引き続き経費目安割合方式、または収支計算による申告となります。

◆インターネットで確定申告書作成が出来ます。（<http://www.nta.go.jp/>）→「確定申告書情報」

国税庁のホームページにアクセスし、必要事項を入力すれば自動で所得税の計算をしてくれます。後は郵送にて税務署に送付するだけです。簡単です※郵送用の封筒は役場にもあります。

●受付時間 午前 9 時から正午・午後 1 時から午後 4 時 ●最終日近くは、大変混雑しますのでお早めをお願いします。

月 日	会 場	申告受付内容
2 月 10 日（木）	八郷町役場 1 階 101 会議室	◎還付申告のみ受付 公的年金または給与のみの所得者で還付申告（所得税を戻す申告）をされる方 ※年金、給与以外の所得のある方はこの日にはお受けできません
2 月 14 日（月）		
2 月 15 日（火）		
2 月 20 日（日）	八郷町役場 1 階 101 会議室	◎青色申告を除く申告 ※税務署より来署要請を受けている方、譲渡所得（株式譲渡含む）のある方及び贈与税申告の方も除きます ○土・日は休みです（2 月 20 日を除く）
2 月 16 日（水） ～		
3 月 15 日（火）		

土浦税務署からのお知らせ

●問い合わせ先 土浦税務署個人課税部門 電話 029(822)1100

◎所得税の還付申告相談のお知らせ

土浦税務署での還付申告は 2 月 15 日（火）以前でも提出することができますので、ぜひご利用ください。

◆還付申告会場 土浦税務署 3 号館

◆開設期間 平成 17 年 2 月 1 日（火）から 2 月 15 日（火）（土・祝日を除く）

※所得税の確定申告は 2 月 16 日（水）から 3 月 15 日（火）までです。（2 月 20 日・27 日の日曜日を除き、土日は閉庁日となります）また、関東信越税理士会土浦支部による還付申告無料納税相談も行っています。

詳しくは、土浦税務署までお問い合わせください。

石岡市・八郷町 合併協議会が 設置されました

●問い合わせ先

役場3階 企画課 内線1323

八郷町と石岡市は、それぞれ、1月7日の議会での議決を得て、平成17年1月7日付けで、法律に基づく合併協議会を設置しました。

合併協議会は、石岡市長、八郷町長、両議会議長、両議会議員及び学識経験者からなる24名の委員により構成されます。合併協議会事務局（市町職員11人で構成）は、石岡市保健センター内に設置され合併に向けての作業を行います。今後、合併協議会では、新市の建設計画の策定とともに、合併に関するあらゆる事項の協議を行います。また、会議内容や合併に関する様々な情報は、町の広報紙で住民の皆さんにお知らせします。



ねんきん



新成人者の皆さん、 国民年金の加入手続き をしましょう

●問い合わせ先

役場1階
国保医療課 内線1123

国民年金は、国が責任をもつて運営する公的年金制度です。日本国内に住所を有する20歳から60歳までの人が加入することになっています。

国民年金の加入者（被保険者）は次の3種類

- ①自営業者 学生などは第1号被保険者
- ②サラリーマン、公務員は厚生年金や共済組合に加入すると同時に第2号被保険者
- ③第2号被保険者に扶養されている配偶者（妻・夫）は第3号被保険者になります。

国民年金などの公的年金は、やがて必ず訪れる長い老後の収入を国が約束してくれる年金制度です。老後の所得保障だけでなく、さらに、病気やけがで障害が残ったときや、18歳未満の子どもを残して父親が亡くなったときにも年金を支給して、思いがけな

い人生の「万一」もサポートします。

また、年金制度を社会経済と調和した持続可能なものにして、制度に対する信頼を確保するために、制度改正も行われました。所得水準に応じた「多段階免除制度」や、若年の就業困難者に対する「納付猶予制度」の導入など、国民年金保険料を納めやすいようにするための改正が行われ、順次実施されることとなります。

加入手続きは、第1号被保険者は市区町村役場で、第3号被保険者は配偶者の勤務先などを經由して行います。第2号被保険者は厚生年金保険などの加入手続きに合わせて行うので、個別の手続きは必要ありません。20歳になったら忘れずに手続きを行ってください。

けんこう通信

●八郷町保健センター 電話 43 - 6655

メールでの相談も受付けています。
hoken@town.yasato.ibaraki.jp

BCG接種年齢が変わります

結核予防法の一部を改正する法律が平成17年4月1日に施行されることに伴い、乳幼児のツベルクリン反応検査が廃止になり、接種時期が生後直後から生後6カ月未満となります。

そこで、3カ月から4歳未満のBCG未接種児を対象に、平成17年2月、3月にツベルクリン反応検査とBCG接種を行います。対象児には個人通知を行いますので、必ず受けていただきますようお願いいたします。

●ツベルクリン反応

平成17年2月15日（火）
平成17年2月16日（水）
平成17年2月23日（水）

●BCG

平成17年2月17日（木）
平成17年2月18日（金）
平成17年2月25日（金）

対象者 平成16年6月1日～11月15日生及び4歳未満の未接種者

*平成17年4月1日から、6カ月以上の子どもはBCG接種の対象となりませんのでご注意ください。

こころの健康相談

ストレス社会の今、こころに悩みを抱えている方や家族等が増えているのではないのでしょうか。

些細なことで悩んでしまう、家に閉じこもっている、最近わけのわからないことを言うなど気になる方はいませんか。一人で悩まずご相談下さい。

*相談内容は一切外部にはもらしません。ご希望の方は予約制になりますので、八郷町保健センターまでご連絡下さい。

日時

毎月第1水曜日

午後1時30分から（要予約）

*相談には町保健師と病院精神保健福祉士が応じます。
お問い合わせ
八郷町保健センター

電話（43）6655

フィブリノゲン製剤の納入医療機関の公表及び相談について

厚生労働省は平成16年12月にフィブリノゲン製剤の使用が確認された医療機関名等を公表しました。公表された医療機関で治療を受けた方のご相談は各保健所で受けております。

相談窓口

土浦保健所

電話 020（821）5516

FAX 0206（826）5961
Eメール
tsuchiho05@pref.ibaraki.jp

食育推進ボランティアについて

社会環境の変化と共に、食生活の乱れが大きく取り上げられるようになりました。そのような中から「食育ボランティア」というものが生まれ、八郷町でもヘルスメイトの中から4名（吉田とし子、菊地ふみ、桜井裕子、大場潤子）が県の農林水産部園芸流通課うまいもんどころ推進室において登録されています。これから地域の方の食生活の改善、健康づくりに協力していきたいと思っています。

また、食育について学びたい方は保健センターまでお電話ください。
●食育ボランティアになるためには

食生活改善推進員連絡協議会の養成講座を受け、推進員になることが必要です。



保健師の一口メモ

保健師 栗原

最近、「口をぽかんと開けた子どもが増えてきた」というようなことが聞かれるようになりました。私にも4歳になる息子がいるので意識して見ると口をぽかんと開けているのです。指しゃぶりもおしゃぶりもすることなく離乳時期・卒乳も問題なく過ぎてきたと思っていたのですが、先日参加した研修で今後の対応策のヒントを知ることができました。その中の一部をご紹介します。

口を閉じる（口唇閉鎖）のは本能ではなく習慣づけ（学習）です。自然にできるものではなく離乳期から学習するのです。

口がポカンとしていると・風邪などの感染症になりやすい・虫歯などになりやすい・肥満等の生活習慣病になりやすい

口を結ぶ練習はこんなことから・空気をふくく、ほっぺを膨らませてみよう、ハミングをしよう。口を軽く閉じて練習してみよう。口を使った遊びをしてみよう。にらめっこ、風船ふくらまし、口笛、ぱっ！ぱっ！ぱっ！、かがみをみて練習を。お子さんの上唇と下唇が離れていないかどうか確認してみてもいいでしょうか。

図書室からのご案内

八郷町中央公民館 電話 43 - 6262

- 本の貸し出しは1人当たり1回5冊までです。
- 貸し出し期間は2週間です。土・日もご利用できます。

○一般図書

「赤毛のアン」の秘密 小倉 千加子

盗まれた記憶の博物館（上）

盗まれた記憶の博物館（下）

ラルフ・イーザウ

すべては捨てることから始まる

片岡 勝

世界の中心で愛をさけぶ 片山 恭一

獄窓記 山本 譲司

グッドラック アレックス・ロビラ

自省録歴史法廷の被告として

中曽根 康弘

野中広務 差別と権力 魚住 昭

茨城の歴史 県南鹿行編

茨城地方史研究会

○児童図書

松井秀喜 飯島 智則

中村俊輔 北条 正士

かいけつゾロリぜったいぜつめい

かいけつゾロリの大金もち

かいけつゾロリのききいっぱつ

かいけつゾロリラーメンたいけつ

かいけつゾロリのきょうふの大ジャンプ

かいけつゾロリちきゅうさいごの日

かいけつゾロリのチョコレートじょう

かいけつゾロリのゆうれいせん

原 ゆたか

※図書室の未返却本が300冊以上あります。お心あたりのある方は、返却していただきますようお願いいたします。

八郷の歴史 (46)

八郷町史通史編、間もなく完成

平成十二年から始まった八郷町史の編さん事業は五年目で、やっと完成の年になり、十六年度末には町史通史編の刊行見通しができました。

今までの五年間では、町内の史料調査の結果発見された古文書などを史料集として五年で四冊の発刊ができました。近世関係では、村明細帳・村落史料の二冊、近現代では明治四十年代の町村是と昭和恐慌の時の農産漁村経済再生計画書の復刻書を一冊、民俗では江戸期から続いた瓦師たちによる太田焼の系譜を一冊など四冊の史料集が刊行されました。多くの人たちが八郷町の歴史の一部がわかる貴重な史料といわれました。

町に住みつてから約五千年の歴史をまとめることになりましたので、その歴史の事実を調査し、まとめるとなると大変な時間と労力がかかりました。

例えば、多くの人が知っている「丸山古墳」の調査でさえも、明治二十六年、昭和二十七年の二度による発掘調査がおこなわれたが、その全てが明らかになかったわけではなく、昭和二十七年の発掘調査は、丸山古墳群の支那にも及び最終年は三十年までかかった。さらに報告書の発刊は三十二年であった。このように、一つの古墳の調査でさえ六年の歳月が必要であったのを考えると、八郷町五千年を調査するとなると際限のない調査が必要でした。しかし、八郷町発

足五十周年を記念しての町史発刊であったので、限られた時間内での完成をしながらではならなかったのいろいろな方の協力を得て精力的に調査をしたり、専門委員の先生方を始め専門調査員の方に無理をいって原稿を書いていただいたりして、やっとまとまりました。

原始古代一五〇頁、中世一五〇頁、近世三五〇頁、近現代三五〇頁、民俗二〇〇頁、総計一二〇〇頁となる八郷町史です。執筆していただいた先生方は、八郷町はかつて山根五十三カ村といわれて近隣にはない大きな村落集団であったので資料などかなりの数にのぼり、本来はもっと多くの頁を必要とし、少なくとも上下二冊で三〇〇頁ほどの町史にしたかったと話していました。



来事を時代を追って書かれておりますので、八郷町史の発刊を期待して下さい。

町史編さん編集主幹 関 肇

柿岡中 2 年生ボランティア活動

このほど、柿岡中学校（村上朝雄 学校長）の 2 年生が総合的な学習の一環で、町内各所でボランティア活動を行いました。



今年 7 月に同学習で職場体験を行い、多くの方々にお世話になったお礼をしようと、生徒たちが計画したもの。いくつかのグループに分かれて、花壇の手入れ、側溝の清掃などを行いました。

あるグループは町立中央公民館周辺の清掃を実施。皆さん、熱心に清掃を行い、おかげで見違えるほどきれいになりました。

佐久の大杉ライトアップ

県指定天然記念物・佐久の大杉が、佐久の大杉保存会（大場 克己会長）により、大晦日と元日の夜、幻想的にライトアップされました。



この樹は樹齢 1,300 年、佐久の鹿島神社のご神木として、社殿の後ろにそそり立っています。長年の風雨や落雷により樹勢が衰えた時期がありましたが、平成 9～12 年にかけて保存会が中心となり回復作業を行い、見事に蘇っています。



林小でそば打ち教室

12 月 10 日に町立林小学校（根本山城学校 長）でそば打ち体験教室を開催。同小学校 5 年生の親子 36 名が初めてのそば打ちに挑戦しました。

「総合的な学習」の授業で、5 年生はそばについて学習。8 月下旬にそばの種を蒔き、育ててきました。その間、児童たちはインターネットでそばの歴史、生育環境、栄養価、おいしい食べ方などを調査。秋には、そば粉を挽くほどの量はとれなかったものの、収穫を体験しました。この学習の集大成として、やさと竜神そば愛好会と青少年を育てる八郷町民の会林支部の皆さんの協力により、そば打ち体験教室を開催することになったのです。

児童たちはそば愛好会の皆さんの指導を受けながら、はしゃぎながらも手つきよく作業を行い、いよいよ延した生地を切る作業に入ると、ちょっと真剣な顔つきに。

出来上がったそばは、町長をはじめ、青少年を育てる会の皆さんや 6 年生児童に振る舞われ、大変好評でした。

5 年生児童たちはそばを食べ、「おいしい！」と感激。自分たちで打ったそばは格別の味だったようです。



第 8 回八郷町芸能祭を開催

八郷町芸能祭実行委員会（上田佳幸委員長）主催による八郷町芸能祭が 12 月 12 日に町立中央公民館で開催されました。

99 組が出演。詩吟、民謡、舞踊、器楽合奏が華やかに繰り広げられました。大勢の観客が来場し、それぞれの発表が終わるたびに大きな拍手が沸き上がっていました。



小幡の嶋田さん 全国青年大会で優勝

本紙 10 月号で紹介した嶋田恵子さん（小幡・中山）が、11 月 12 日から 15 日にかけて東京都内各所で開催された全国青年大会・陸上女子 1500m で優勝を果たしました。おめでとうございます。

恋瀬川探検隊、八郷町を探訪

恋瀬川探検隊連絡会議（鈴木かつ会長）主催の第3回恋瀬川探検隊交流が12月11日に開催されました。

同会は霞ヶ浦の水質浄化を目的に恋瀬川流域の市町村や関係団体などをメンバーとして設立され、水質調査をはじめ、恋瀬川流域の生き物、自然、歴史、文化など楽しい探検を行いながら、子どもたちや住民の恋瀬川や霞ヶ浦を大切にすることを育んでいます。

今回は、霞ヶ浦流入河川中で一番の清流、恋瀬川源流部の八郷町を探訪。町内・石岡市・玉里村・千代田町の小学生から年配者まで約130名が参加しました。

一行は、峰寺山西光院、清流で水車を回して線香を製造している駒村清明堂を見学。八郷町つくばねオートキャンプ場で昼食休憩をとったあと、竹とんぼ作りと、のこぎり体験を楽しみました。



駒村清明堂とオートキャンプ場では、近辺の沢の水質調査を行い、水の色、におい、透視度、汚れの測定結果などを記録。皆さん、積極的に調査に取り組んでいました。



サイエンス・レンジャー参上！

実験名人サイエンス・レンジャーによる科学実験教室が、12月11日に町立恋瀬小学校で開催されました。

恋瀬小学校PTA英会話クラブ「ブルームーンクラブ」（大図吉明会長）が、近年問題となっている子どもの理科離れを懸念し、子どもたちに科学に興味を持ってもらおうと企画したもので、科学技術振興機構から派遣されたサイエンス・レンジャーが科学実験を実演。

当日は、約80名の児童が参加。液体の色の変化を楽しむ化学マジックやドライアイスを使った実験などが行われました。次々と繰り出すおもしろい実験に子どもたちはくぎ付け。「わあ」「すごい」と終始歓声を上げていました。

このあと子どもたちは、ボランティアで英会話を指導されているバネッサ・リチャードソン先生と英語を交

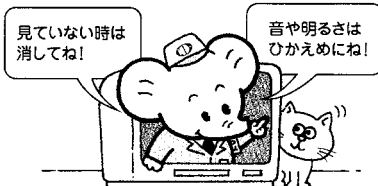
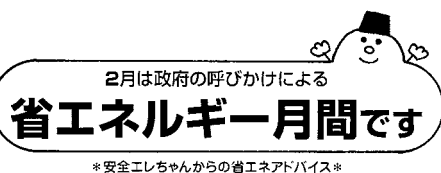
えてゲームを楽しんだほか、ボランティア音楽愛好ギタリストの成田功三さんと高田正巳さんによるクリスマス曲の演奏を堪能。子どもたちにとって、ひと足早い素敵なクリスマスプレゼントとなりました。



お待ちしております。

広報やさとの14・15ページ「みんなの広場」習字コーナー、やさと文芸云わたしも一言イラストへの投稿を

広報係からのお知らせ



関東電気保安協会
http://www.kdh.or.jp

■訂正 広報やさと12月号6ページ・民生委員名簿の一部に誤りがありました。恋瀬地区太田地域担当・谷仲たち江さんの電話番号「43・3332」は「44・3332」の誤りです。瓦会地区・鈴木静野さんの担当地域「小埜・村子・西畑・弓張」は「小埜・村子・西畑」同・小河原津子さんの担当地域「宇治会」は「宇治会弓張」の誤りです。訂正するとともに、お詫びいたします。



●皆さんが作る
ページです。
作品をお寄せく
ださい。

習字コーナー

評(財)独立書人団審査会員 関翠邱

葦穂小一年 野村 日菜乃

おと

無心で、一途にしっかり書いています。余白もきれいで、名前も間隔をとりとても良く出来ました。秀作です。

葦穂小二年 野村 恵

草

運筆、骨格共に非のうちどころなし。とても二年生と思えぬ堂々の作、終筆などは槍の様な鋭さと、腕力のある優秀作品であります。

やまと文芸

短歌

大塚 誠

雪被く峯寺山の堂の屋根白きつかりと年暮れむとす
筑波嶺に昨夜の雪の照り映えて寝なす谷の影淡淡し
残雪は筑波山頂のみとなり連なる山脈わが町囲む

俳句

綿引 鼓峰

建て替へと決まりし宮へ初詣
くらがりに響く御神樂初詣
土器に戴く神酒や初詣

俚謡

鈴木 弦月

父の十八番の詩吟に乗って柚子の香が残る冬至風呂
暮れの街角年金割いて情け投げ込む慈善鍋
よもや無情の畏とは知らず梁に恨みの孕み鮎

あけましておめでとうございます。今月は、選者の皆さんの作品をご紹介します。

来月からは、皆さんの作品を掲載していきますので、ふるってご応募ください。お待ちしております。



「御降り」というのは、元日または、三が日に降る雨や雪のことです。

普通、「御下がり」というと、神仏の供え物をおろして人が食べることとか、年長の人から譲られた衣服などのことを指します。

しかし、季語の場合は昔、一月一日や三が日に雨や雪が降ると豊作の吉兆として喜ばれたことから、「御降り」または「お降り」と表現するようです。

御降りに 眉目濡らして 三輪詣で 北野民夫

毎年のしきたりになつて三輪神社への初詣。この年は御降りがあり、眉目を濡らしつづ詣でることに。縁起がよいといわれる御降りなので、雨をいやがるのではなく、むしろいそいそと出かける感じが出ています。

三輪神社は大神神社の別称。奈良県桜井市の三輪山を神体としている神社で、二十二社

御降り

(朝廷が畿内を中心立てた神社)の内の一つです。御降りの 咳き止みて 昏れにけり 阿部みどり女 御降りの、しとしとした風情が感じられます。この時期の雨は豪雨になることは少なく、いつのまにか御降りが止んで、一月一日の夜が静かに昏れていく。心静かに正月を迎えた気分が伝わってきます。

豪雨の心配はあまりしなくてもいいようですが、地震などの災害はこの時期でも起こります。一月十七日は「防災とボランティアの日」です。自主防災組織に参加する心構えを身につけたいものです。



みんなの広場

わたしの手料理

さつまいもの

フルーツサラダ



食生活改善推進員（ヘルスメイト）

増田 美智子（小幡）



【材料4人分】

○さつまいも 中1本（400～500g）
○きゅうり 1本 ○玉ねぎ 1/4個 ○りんご 中1個（150g・硬めのもの） ○かき 中1個（150g・硬めのもの） ○マカロニ 40g ○塩 少々 ○コショウ 少々 ○マヨネーズ 大さじ5
○レタス（サニーレタスでもよい） 2枚 ○プチトマトまたはパセリ

【作り方】

①さつまいもは皮をむいて4～5cmの輪切りにし、鍋でゆでる。ゆで上がった水を捨て、水分がなくなるまで火にかける。熱いうちに粗くつぶし、塩・コショウを振り、マヨネーズを混ぜる。
②きゅうりと玉ねぎは薄くスライスして、塩を振っておく。マカロニはゆでて、冷ましておく。りんご・かきは半月切りにする。
③きゅうり・玉ねぎをきつくしぼって水気を切り、マカロニ・りんご・かきと一緒に①に入れて混ぜ合わせる。好みで塩・コショウを振る。
④皿にレタスを敷きサラダを盛り、プチトマトを飾る。



P.N 水玉



柿岡 浅野真結



月岡 田上幸子



P.N くじらん



P.N まりも



P.N エビ

イラスト

わが家の

アイドル

須釜

廣瀬

あかり

緋莉

ちゃん

平成15年8月22日生まれ
父 義人さん 母 裕子さん



♥家族からの一言

よく遊び、よく食べる元気な女の子です。本が大好きで、好きな本を選んで持ってきては読んでとせがみ、見始めたらいつまでも見ています。いろいろなことを覚え、「エレファント」と言うのを指すこともできます。

健康で、明るく、心優しい子に育ってほしいです。

広報クイズ202

全問正解者のなかから抽選
で素敵な賞品が当たるよ

3つの答えの中から正解を選びハガキに書いて
送ってください。

①平成15年度一般会計と特別会計を合わせた
決算の歳出額はおよそいくらでしたか？

A-185億円 B-178億円 C-100億円

②所得税・住民税の申告相談が2月から始ま
りますが、八郷町での相談会場はどこですか？

A-役場1階101会議室 B-中央公民館

C-役場3階303会議室

③12月9日に恋瀬小学校で開催された化学実
験教室で実験を行ったのはどれですか？

A-ゴレンジャー B-デカレンジャー C-

サイエンス・レンジャー

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ202と書き、答えの記
号(例①-A)、住所、氏名、年齢、世帯主名
と「私もひとこと」へのご意見や広報の感想な
どを書いて送ってください。イラストなども大
歓迎。

☆締切日 平成17年2月15日(当日消印有効)

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿岡 5680-1

八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙3月号

【広報クイズ200の当選者の発表】

正解は①-B、②-B、③-Aでした。応募総
数54通、正解51通の中から次の10人が当
選しました。

浅野真未(柿岡)伊藤佑允(山崎)大沼きみ(大増)
桜井洋子(小倉)田上幸子(月岡)藤岡なつ子(太
田)細谷光夫(片野)松延京子(辻)溝上マス
エ(柿岡)吉成美佳(山崎)【敬称略】

今年は、酉年ですが、「干支は酉」と言うのは正
確には正しくないそうです。
「干支」とは、「十干」と
「十二支」の組み合わせのこ
とで、今年の場合十干(甲・乙・
丙)は、「乙」になり、十二
支は「酉」なので、干支は「乙
酉」となるそうです。十二
支は、それぞれに草木の成
長を象徴した名前でも、も
とは動物とは関係がなく、
人々が暦を覚えやすくする
ために身近な動物の名前を
付けたようです。(W)
新年を迎え、寒さは一段
と厳しくなりますね。毎年、
冬は夏が恋しくなり、う
だるような暑い夏になると
冬が恋しくなります。いつ
ぞ常春だったらいいのに
などと思うことも。でも、
四季の変化があるから、
美しい自然の姿が演出され
また、それにより様々な文
化が生まれ継承されてきた
んですよね。せっかく日本
に生まれたのですから、四
季折々の暮らしを楽しみた
いものです。(S)

新しいバラ つくばエクスプレス



「つくばエクスプレス」はオ
ランダのスクール社によって
育成された品種登録前のバラで
すが、茨城県ばら切花研究会の
神生賢一さん(吉生)が中心と
なり、平成13年より栽培試験
を行ってきました。平成17年
秋に開通予定の常磐新線「つく
ばエクスプレス」にちなみ、商
品名を「つくばエクスプレス」
と名付け、平成15年春より市
場出荷しています。

11月26日には、八郷バラ生産組
合(神生賢一組合長)の生産者3名
が町長とともに茨城県知事を表敬訪問
し、「つくばエクスプレス」のPRを
しました。

今後、「つくばエクスプレス」など
目玉となる品種を3名で栽培し、市
場のしぼり込みをしてさらなる共販体
制の充実を図っていきます。



「つくばエクスプレス」の特長

- 香りが強い。
- 大輪で大きく開花する。
- 花弁の外側が白味がかったピンク色で、外側
が明るいピンクのため、蕾はやや白く見える
が、開花後はピンク色が強調される。
- トゲが少ない。

